
東方複製術

ゼニカメ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方複製術

【Nコード】

N0801Y

【作者名】

ゼニカメ

【あらすじ】

一人の少年が幻想入りするお話。
主人公はチートではありません。

プロローグ 幻想卿入りした少年

- 現代 -

(……………)

一人の少年が窓の景色を見ている。

(- キタナイ -)

ここで生きている自分が、走っている車、バイク、人々、全てが
- キタナイ -

(もう中三なのになあ)

卒業を間近でなんて事を考えてるんだか、そんな事を思いながら目
の前の答案用紙に目をやる

幾つかの問題を解いてすぐ、集中が切れる。

(……………)

そしてまた窓の外を見る

キーンコーン……

(んっ 終わりか)

適当なホームルームを終え、友達と他愛もない会話をして一人の道
を歩く

(そんでまた面倒な明日が始まるのか・・・)

苦笑いしながら、馬鹿だなと呟いて信号を渡る・・・

ふうふうふうっ!!

(えっ?)

ドンッ その日一人の少年が消えた

プロローグ 幻想卿入りした少年 (後書き)

意味分らないとか言わないで下さい
ぼちぼちがんばりますのでよろしくお願いします。

「……あれ？」

うつすらと目を開ける、目の前には雲一つない綺麗な空があった

「なんで？……っつ」

上半身だけを起こし、立ち上がるつとすると右足に痛みが走る

「いつてえ、てかどこだここ？」

状況を確認するために周りを確認する。

何も無い、そのかわり広大な草原が延びている

「……歩ける……よな」

痛みを我慢しながら一歩ずつ歩く、すると……

「なんだこれ？ひまわり？」

道を下つていくとひまわりが咲いている、大量に

「……でかいな……」

普通の人間より大きい、二メートルあるぐらいか

「綺麗だ」

「あら？そつ？」

「！？」

後ろから聞こえた声に！して振り返る

そこには、緑色のショートボブの髪、白のカッターシャツと赤と黒のチェック柄のロングスカートと同じ色のベストを上から羽織っている。

「綺麗かしら？」

「えっ？」

「ひまわり」

「あっ」

再度ひまわりを見る

「やっぱり綺麗だ」

「そう、花達も喜んでるわ」

「えっ？」

「ふふっ」

ピンク色の傘を回しながら微笑む

「・・・そつですか」

「ところで、貴方は誰かしら？」

「あつすいません、神着尚登くかみつきなおとくと言います」

「神着・・・そう」

「ここには、分かりません目が覚めたらここについて」

「目が覚めたら？・・・紫・・・」

「？」

女性は何かを考えてこっちを向いた

「ここを行くと人里にでるわ、そしたら【博霊神社】に行きなさい」

「えっ」

「そこなら貴方がここにく来たく理由が分かるわ」

「はぁ・・・？」

く来たくという言葉が引つかかるが、お礼を言ってその場を後にした

「まったく、今度は何なのかしら・・・？」

女性は傘を回しながら道を進む

「無事に来れたようね、後は・・・」

どこからともなく声が聞こえる、しかしその場に人影はない
しかし、スーッと空に線が引かれそこが開く、中は見えない

「あの子達なら、うまくやってくれるはず」

そして、空に開いた歪みはスーッと閉じた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0801y/>

東方複製術

2011年10月31日01時26分発行